

北九州～釜山に新航路開設

韓国航路 前年7航路月64便 11航路月112便に!

8月28日門司寄港分より、北九州と韓国を結ぶ航路が1便増設されることになった。最近の景気回復の影響から、日韓航路が急増している。

背景には、本市が各産業の製造拠点を多く抱えているため、主に産業機械(274%)、金属製品(247%)、自動車部品(151%)、化学薬品(116%)等の輸出入が前年比で増加傾向にあり、釜山積替え貨物が増えていること、また釜山新港の本格稼働化などがある。

記

- 1 船社 CKライン・シーケーライン(韓国船社)
平成21年北九州港コンテナ取扱量船社別第4位
1) 8月27日まで(2航路週4便)
フルコンテナサービス：中国航路(上海・寧波/週1便)
セミコンテナサービス：韓国航路(釜山/週3便)
2) 8月28日から(3航路週7便)
フルコンテナサービス：中国航路(上海・寧波/週1便)
フルコンテナサービス：韓国航路(釜山北港・釜山新港/週3便)
セミコンテナサービス：韓国航路(釜山/週3便)

2 代理店 門菱港運株式会社

3 航路 門司～博多～釜山新港～釜山北港(門司寄港は、火・木・土)

4 投入船 SKY DUKE (340 TEU, 3,997 グロストン)

5 航路開設の目的

これまで在来船で門司(月・水・金)～釜山北港を結び、別途釜山新港間を陸上輸送していたものを、定期コンテナ船で釜山新港へ直接寄港することで、物流コストと時間を節減し、更に従来の在来船と併用することで、デイリーサービスが実現した。

6 参考資料

1) コンテナ取扱量(平成22年1月～5月)

北九州港 189,013 TEU(前年同期比 121.6%)

国別上位3ヶ国 中国 60,451 TEU(前年同期比 106.4%)

韓国 49,681 TEU(前年同期比 150.6%)

台湾 29,201 TEU(前年同期比 123.9%)

2) コンテナ航路数 北九州港全体 38航路221便(平成22年8月末)

今年度に入り、3航路48便の増便となった。

4月	東進商船(釜山)	月	4便増	35航路/177便	
5月	グランドフェリー(釜山)	月	24便増	36航路/201便	
	カメラライン(釜山)4便	8便	月	4便増	36航路/205便(増便)
7月	陽海海運(釜山など)	月	4便増	37航路/209便	
8月	CKライン(釜山)	月	12便	38航路/221便	

7 歓迎訪船

(1) 日時 平成22年8月31日(火) 9:00

(2) 場所 太刀浦第1コンテナターミナル「SKY DUKE」船内

(3) 内容

- ・ 歓迎の挨拶(港湾空港局営業担当部長 中野 好生/なかの・よしお)
- ・ ポートアテンダントによる花束贈呈 小笠原 由紀/おがさわら・ゆき)